

山手学区まちづくり推進委員会

委員長 藤井 昌光

（問合せ先） 084-951-9381（山手公民館）

## 事業内容

- (1) ふれあいいきいきサロン（11月・12月／年3回 山手公民館 674人）  
お茶会・お茶会の打合せ・健康教室
- (2) 山手子ども文庫（通年 山手小学校 594人）
- (3) 山手学区教養講座（7月～3月／年6回 山手公民館 60人）  
ハワイアンリボンレイ，ちぎり絵，コンテナガーデン，味噌作り，  
運が良い人の話し方，フラワーアレンジメント
- (4) 山手学区子ども講座（12月 山手公民館 18人 クリスマスケーキ作り）
- (5) 合同レクリエーション（12月 山手小学校体育館 89人 クリスマス運動会）
- (6) コミュニティ育成事業（通年 山手学区町内会 ほか）
- (7) 地域の環境づくり活動事業（通年 山手学区町内会 1,630人）  
溝用水路一斉清掃・小田一斉清掃・公民館周辺美化活動
- (8) 城西校区人権学習講座（7月～10月 山手コミュニティセンター）  
会合及びポスター仕分け作業等 延200人
- (9) 親睦グラウンド・ゴルフ大会（11月 山手小学校グラウンド 72人）
- (10) 山手学区避難・防災訓練（11月21日 山手学区西田中公園倉庫 防災機器の充実を図る）
- (11) まちづくり推進委員会運営事業（通年 山手公民館 役員会16人，書面表決66／73人）



クリスマスケーキ作り



フラワーアレンジメント



人権啓発ポスター

**成果** 昨年に引き続き今年度もコロナ禍で中止になった事業があったが，LEDランタン・折りたたみ避難ベッド・災害避難用テント等を備え自然災害時に対応できるようにした。

**課題** 昨年よりも自粛の期間が多く，いろいろな行事が中止となり，人と人との交流が減少した。地域課題を解決するための手立てを考える必要がある。

**課題解決にむけて** コロナ禍であっても住民同士が交流できるように，これまでとは違った方法で事業を開催することを考える。



## 【子ども講座】 ☆クリスマスケーキづくり☆



### コロナ禍で人数制限をしながら実施

学区の保育所や小中学校ではクラス閉鎖や家庭間の往来を制限され、ステイホームの一年となりました。山手公民館でも予定していた講座が緊急事態宣言やまん延防止措置により中止となり、住民同士の交流する機会が減少する中、少しでも人と集う楽しさを体験してもらえるように、感染対策を講じて実施しました。

グループ人数を例年より減らし、人と人との間隔を広く確保して、食事中は向かい合わせにならないように配慮しました。

クリスマスケーキのデコレーションがそれぞれ個性的で子ども達の発想力に驚かされました。

